



子どもが生きやすい社会を

久慈市で保護者向け講演会

岩手県学童保育連絡協議会は11月19日に久慈市中央市民センターで子育て講演会を開催。県北広域地域の学童保育の保護者、指導員ら65人が参加しました。京都市のNPO法人福祉広場の理事長池添素さんが「子どもの豊かな育ちと保護者の役割」と題して講演を行いました。

池添さんは「子どもたちの中には色々な発達の問題を持っている子がいる。その発達の課題にしっかりと向き合ってもらいたい」と強調し、「子どもが『学校に行きたく

ない』と言ってきた時は初動が大事。『無理に行かなくても大丈夫』とまずは気持ちを受け止めてほしい」と語り、子どもが分かってもらえたという安心感を持つことで、よい方向に向かうことが多いとアドバイスしました。

また、保護者の役割は子どもが自分で育つことをサポートすることと説き、「子どもに話を聞くのではなく、子どもの話を聞く。子どもの気持ちになってみるのが大切」と述べました。さらに、「子どもたちがよく育っていける環境をつくるのは大人の役割。自分に何ができるか考えてみてほしい」と参加者に問いかけ、「大人たちがつながらないと、子どもの声がどこにも届いていかない。みんなで力を合わせて子どもが生きやすい社会をつくってほしい」と願いを込めました。

参加した久慈市の保護者からは、「子どもが話してきた時、否定的に応じってしまうことがあった。今の自分に必要な講演会だった」、「これからは、子どもの話にはしっかりと耳を傾けていきたい」などの声が聞かれました。



全国連協 副会長に門田さん 就任

10月29日に東京都で開催された全国学童保育連絡協議会の定期総会で役員を選任が行われ、副会長の嘉村祐之さん（盛岡市）が退任し、新たに門田弘之さん（滝沢市・菓子学童保育クラブ第一指導員）が副会長に選任されました。今年度から全国各地域をブロックに分けて役員を選出することになり、北海道・東北ブロックからは門田さんを推薦していました。



開所要件にかかる 緊急学習会

会計検査院の指摘により返還金が発生している自治体があります。これを受けて、昨年度末に厚生労働省から通知が出ていますが、県内の学童保育に正確な情報が伝わっておらず、問い合わせが増えています。県連協では会員向けに1月25日(木)19:30~からオンラインで緊急学習会を開催します。皆さんの参加をお待ちしております。※詳細は後日メールで案内します